

11/2 第2回交渉

コロナ禍と物価上昇に苦しんでいる 社員・家族に3・2カ月の満額回答を!

第2回年末手当交渉から会社発言を抜粋

国労：今年度の決算状況は黒字であり、安定的支給ベースの2・9カ月は支給できると考える。社員は、コロナ感染防止に努め、物価高騰での苦しい生活でも安全・安定輸送を担っている事を会社は十分評価し、国労要求での回答を望む。

会社：黒字になれば、ただちに安定的支給ベースの議論になるとは考えておらず、短期の業績ではなく、長期的視点で判断するものだと考えている。期末手当決定は「会社業績・景気動向・世間相場・賃金水準・組合の主張」を総合的に勘案して決定したい。

★詳細は交渉情報を参照★



回答日まで国労要求を広く訴えかけて
要求獲得に向け奮闘しよう!

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：寺崎 浩